

した。

そして、卒業の日、

「自分は何をやりたい、何にな  
りたいという夢を持ち、それに向  
かってがんばれる人になってくだ  
さい」

と最後の言葉を贈りました。

今、私の目の前で、美容院の中  
を忙しそうに動いているFさん。  
来年の四月には専門学校を卒業  
し、国家試験を受けて、早く一人

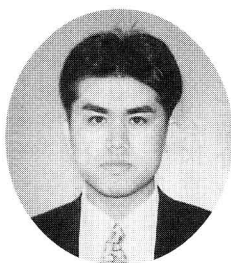
前として認められたいと話してい  
ました。さらに、Fさんの夢は、  
将来小さな店を開くことだそう  
です。

しっかりと自分の道を見つけ、  
一歩一歩努力しているFさんは、  
自信をつけ輝いていました。いつ  
か、Fさんの小さな店で髪を切っ  
てもらおうのを楽しみにしています。

(須賀川市立第二小学校教諭)

## 身の回りに 目を向ける

樽井 亮



この春、新採用の理科教師とし  
て、海の近くの中学校に赴任し  
た。あわただしい毎日を過ごすな  
かで、ふと自分の小学校時代を思  
い出した。

その学校では、校庭の片隅に咲  
く花にもいちいち名前が添えて  
あった。当時私は、名前はもちろ  
んのこと、どんな植物かもほとん  
ど分からなかったが、理科の先生

は、教科書に書いてあるなしにか  
かわらず、事細かに説明され、き  
まっていくつかの草花の名前をテ  
ストされた。そのころは名前を覚  
えるのに必死で何も考えられな  
かったが、思えば、「もっと身の回  
りに目を向けよう」と、暗に教え  
てくださったのだと、今気づく。

一年生の学習に、身近な植物の  
観察や実験などを行う「植物の生

活と種類」というのがある。授業  
で、「みんなの身のまわりにある  
花を学校に持ってきて観察してみ  
よう」と言ったら、近所の花屋さ  
んで買ってきたらしい包装紙に包  
まれた花を持ってきた生徒が数人  
いた。指示の不適切さは大いに反  
省するが、近くの山や川、池など  
にしばしば出かけ、そこに住む動  
植物と戯れるといった少年時代を  
過ごしてきた自分には、ちよつと  
シヨククだった。花と言えば、花  
屋さんにあるものしか思い浮かば  
ないようでは、自然への関心はお  
ろか、豊かな心を育てることも難  
しいと思う。

身近なものに目を向けることの  
大切さは、何も理科の学習におい  
ただけではない。生徒一人一人  
が、学校のこと、友達のこと、家  
族のこと、地域のことなど自分た  
ちが生活している環境に関心を持  
ち、積極的にそれらに関わろうと  
する意欲や力を身につけること  
は、とても重要だと思う。そのた  
めには、教師もまた、生徒を取り  
巻く環境に目を向け、そこにある  
素材を教材として取り上げること  
ができる鋭敏な目と確かな腕を持  
たなければなるまい。

自分の育った町には、海はな  
かったけれど、ここには、太平洋  
の大海原がすぐ近くにある。もち  
ろん、山や川、池にも恵まれてい  
る。この恵まれた環境を生かし、  
子供たちと共に身の回りの自然か  
ら多くのことを学ぶことができた  
ならば、どんなに素晴らしいかと  
思う。そのような教師を目指し、  
自分なりに努力する昨今である。

(浪江町立浪江東中学校教諭)

